

A61		最終更新日		2025年4月4日	
プログラム名 (40字以内)	観光地西表島の自然の魅力を存分に堪能し、存分に環境保全の意義について考える				
団体名/所属	農学生命科学研究科附属演習林				
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接		
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む		
活動方法	現地活動のみ				
参加者に求めるもの	意欲的に取り組むことと、その後関連する活動に関わる意欲をもっていること				
活動期間	2026/3/22(日)～3/26(木)(予定)	主な活動予定場所	西表島		
プログラム実施の目的	観光はただ楽しむことだけを目的とするよりも、日常を離れた学びの場に身を置くのだと意識をした方が、その土地のことをより深く理解することができ、結果的に豊かな観光とすることができる。大学生の観光はそうあるべきではないだろうか。西表島のような豊かな自然豊かな観光地は、学ぶ姿勢を持ち込むだけでずっと存在感が増す。参加学生にはそのような基本的なことを身につける体験としてもらいたい。駆け足で日常生活を送る大学生にはゆっくりじっくりと自然体験をし、そして体験したまま放置せずに、しっかりと振り返り考える時間を大切にしたい。西表島の森林から汽水域、そして海へとつながる雄大な自然を体験し、かつ現地で自然と向き合いながら生きる人々と交流することは、彼らに西表島の生態系の貴重さや、生態系を守ることの意義を実感させるであろう。今後の現代人の生き方の道標となることを期待する。				
具体的な内容(800字程度)	西表島の大きな特徴として、汽水域・淡水域・海水域がコンパクトに接していることを挙げることができる。さらに言えば、それらが実際につながっていることを意識しやすい場所である。そこで本プログラムでは、汽水域・淡水域・海水域を堪能できるアクティビティに参加する。西表島の豊かな自然・生物多様性ばかりではなく、それらを満喫できるアクティビティが提供されていることが、西表島の大きな魅力と言える。 河口から汽水域をカヤックで遡上する。汽水域には豊かなマングローブ林が広がり、様々な動植物の存在に思いを寄せる。遡上最終地からはトレッキングルートが設置されており、さらに上流部(淡水域)に向けてトレッキングを行う。そこには日頃見慣れない植物も多く、ちょっとしたジャングル体験を味わえる。 海域ではシュノーケリングが初心者向けで比較的単純なアクティビティであるが、感性に訴える点においてとても優れる。豊富な魚種を目の当たりにすれば、西表島の淡水域・汽水域とのつながりの産物であることは、言葉をもって語るまでもない。 全学体験ゼミの手法を取り入れて、晩にはその日の体験を振り返り、何を感じ・何を考えたかについて真剣に語り合う時間を設定する。自分だけでは消化できないことが、参加学生同士の視点を持ち寄ることによって、少し消化が進む体験をするであろう。消化が少し進むことが大事なことではなく、自分と異なる視点を得られること、自分も他人にその様に機能しうることを知ることがもっと大切なことであると気づきがあれば上々。 さらに欲張って、イリオモテヤマネコ研究所や黒島研究所の訪問、バードウォッチングにより、西表島に生きる興味深い生物種に注目する。また、西表島でエコツーリズムを行う海人の家にて就業体験を行うことで、自然と向き合いながら生活を営む人々の視点も得たい。 レベルの異なる視点からなる体験を通して、環境保全とどの様に向き合うべきかを考える切っ掛けとして欲しい。				
【総額】参加するための費用	112,000円				
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	12,000円				
【内訳】参加するための費用(交通費)	石垣島までの交通費30,000円、島間の移動および島内の交通費25,000円				
【内訳】参加するための費用(その他)	アクティビティ参加費20,000円、飲食費25,000円				
奨励金額(予定)	25,000円				
備考	本プログラムは、卒業式・修了式の日程と重なる可能性があるため、確認のうえご参加ください。 また、来年度以降の実施についても、卒業式・修了式と重なることが見込まれます。 参加をご検討されている方は、最終学年となるのを待たずに参加をすることをお勧めします。				
活動に関する関係資料のダウンロードサイト					
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)					
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する				